

海洋開発に関する NKの取り組み

July 2012

Nippon Kaiji Kyokai

A World Leader in Ship Classification

船級協会

- 海上における人命と財産の確保及び海洋環境の汚染防止を使命に、第三者機関として活動。
- 1899年設立。従業員数約1600。日本以外にも約100の事務所。
- 船級協会本来の規則制定、その規則に基づく適合性の証明に加え、船籍国政府の代行検査、国際活動、技術サービス、認証サービス等を行う。
- 特に日本の海事産業に支えられ、各国の船級協会からなる国際船級協会連合(IACS)の中で、10年以上にわたりトップシェアを確保。本年、**世界で初めて登録船総トン数が2億トン**を突破。
- 他の大規模船級協会と異なり、**マリン、オフショアに特化した船級協会**。

"Expanding our survey network across the globe"



海洋開発の動向

- オフショア設備に関し、NKは国家プロジェクト等を中心に対応。
- 近年の資源開発の高まりから、オフショア設備需要の増加。
- 資源開発に関する変化。(プレイヤー、高度技術)
- 国内開発案件の増加。
- 船級協会としてのこの分野への強化が必要。



Oil Storage Unit



"SHIRASHIMA" No.1 - 8
Total Capacity : 5,600,000 m³



"KAMIGOTO" No.1 - 5
Total Capacity : 4,400,000 m³

Drilling Rig



"NAGA 1" (semi-sub)
Max. Drilling Depth : 9,000 m

Mega-Float



"Mega-Float"
L= 1,000m B=120m

Deep Sea Drilling Vessel



"Chikyu"
Max. Drilling Depth : 10,000 m

オフショア分野への参入強化

資源エネルギー開発プロジェクトチーム設立(2009年11月)

- 関連部門のエキスパートから構成、オフショア分野への参入強化を図る。追加技術の対応、豊富な船舶経験により克服を目指す。
- 資源開発に関連する、新規輸送技術にも同時に対応。



資源エネルギー一部設立(2011年10月)

- さらなる対応強化を図るべく、PTの実質的な活動中心部分を集結し、資源エネルギー一部として発足。
- より積極的且つ、具体的な対応を行う。

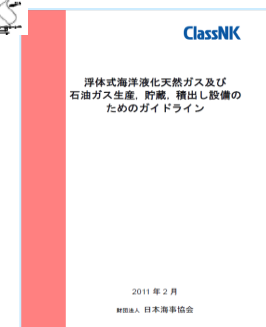
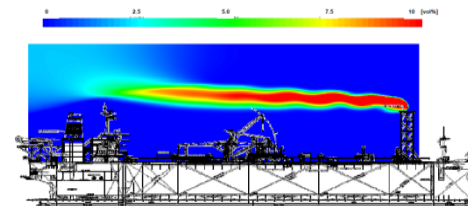
プレゼンスの向上

- 関連各社へのオフショア事業への取り組み紹介。
- カンファレンス・展示会への積極参加。



技術力の向上

- オフショア関連技術の強化。
- 研修の実施によるスタッフ育成。現場OJTの実施。
- 規則類の整備。



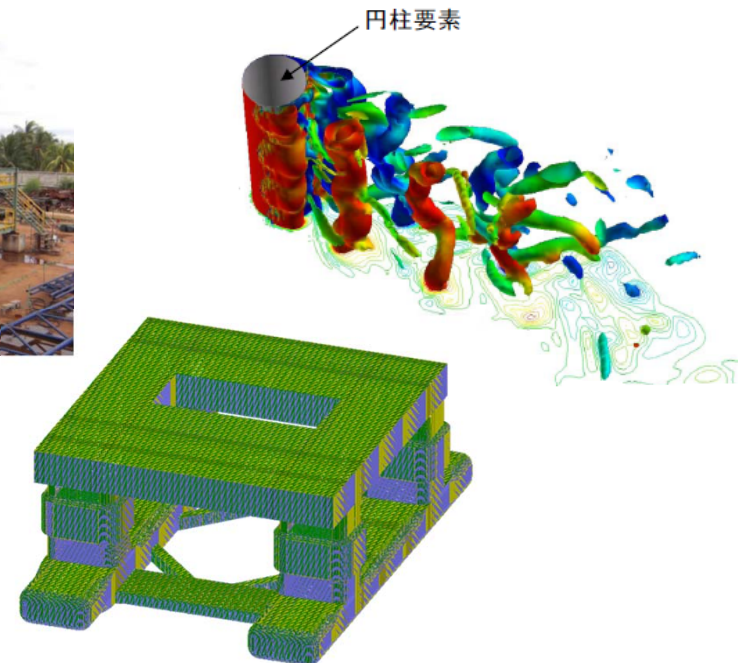
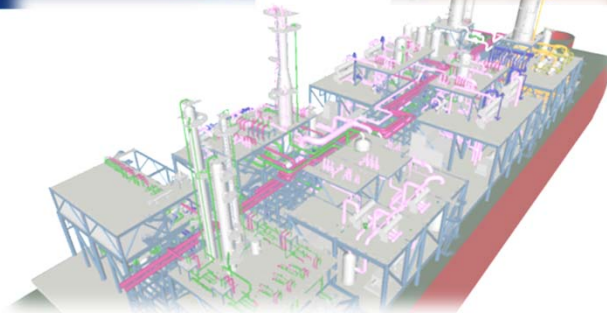
実績の構築

- 実際案件への積極参加。
- 他機関との積極連携。



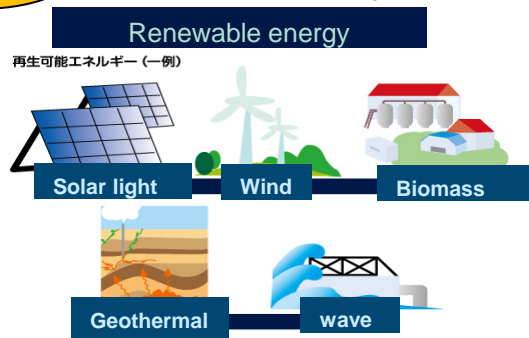
新規技術への積極参加

- オフショア関連技術R&Dに対する積極サポート。
- より实际的なR&Dへの注力。
- 積極参加による、船級として必要な技術力を身に着ける。



資源開発と環境保護

資源開発



環境保護



- 資源開発への環境問題取り組み。
- 近代社会の維持、発展抑止？
- エネルギー転換の限界。
- 何が実際的な対応？

- 環境に配慮した開発、資源のより効率的な利用。
- これを実現できる技術はどこに？
- ボーダーレスな技術融合。実際的な技術革新。

- ◆ **NKは微力ながら、日本の海洋開発、環境保護技術の発展に協力するとともに、第三者機関としての使命を果たし、業界からの要望に応えていきたいと考えます。**

ClassNK

R & D P R O J E C T

ご紹介事項は以上です。

今後ともご支援いただきたく、宜しくお願いいたします。